



政府統計

報道関係者 各位

令和5年5月17日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 菅沼 伸至
室長補佐 北 恭子 (内線 7473)
(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2321

第12回「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を公表します

厚生労働省では、このたび、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の第12回（令和4年）の結果を取りまとめましたので、公表します。

21世紀出生児縦断調査は、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査と平成22年に出生した子の比較対照等を行うことにより、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査時点での子どもの年齢は、12歳（小学6年生）です。

【調査結果のポイント】

1 母の就業状況の変化

・母が有職の割合は第12回調査（小学6年生）で81.0%となり、平成13年出生児（第12回）の73.7%に比べて7.3ポイント高い (3頁 図1)

・出産1年前(注)の就業状況が「勤め(常勤)」の母のうち、第1回調査から第12回調査まで継続して「勤め(常勤)」の母の割合は、平成22年出生児では34.5%で、平成13年出生児の24.9%に比べて9.6ポイント高い (4頁 図2)

(注) 調査対象である子の出産1年前をいう。

2 子どもの生活の状況

(1) 学校生活のようす

学校生活のようすをみると、平成13年出生児と同様、「友だちに会うことが楽しい」が約9割、「行事(遠足、運動会など)が楽しい」が約8割となっている (5頁 図3)

(2) この1年間の学校行事以外の体験

この1年間に学校行事以外の体験を1回以上した割合は、おおむね前回(第11回)調査に比べて上昇している (6頁 図5)

(3) 子どもの手伝いの状況

・子どもが手伝いする割合は、男児・女児ともに「部屋やお風呂などの掃除をする」「洗たく物を干したり、たたむ」の順に高い (7頁 図7)

・母が「有職」の場合、「洗たく物を干したり、たたむ」「お米をといだり、料理を作るのを手伝う」等の割合が、「無職」の場合よりも高い (8頁 図8)

・父の家事の状況が「よくする」「ときどきする」の方が、「ほとんどしない・まったくしない」場合よりも高くなっている手伝いが多い (8頁 図10)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。